



第26号

会会刷 所治員印 行自委 香川報 子 香広金 0463 (55) 3721

自治会組織小委員会で

十二月までに会則等を検討

去る八月十二日、自治会の諮問機関として小委員会が結成された。

この小委員会は、現在の自治会の在り方を検討し、これを答申するものであるが、十二月までに一応の線を出して、来年度から自治会の在り方を改めようとするのがねらいである。

その一例は自治会役員を選出である。自

治会活動も年々むずかしくなるにつれ役員を選出がむずかしくなったことである。

現在、自治会長一名、会計一名、地区会計七名、他に評議員、監査委員、顧問、土木委員、文化厚生委員、広報委員、衛生委員、消防委員、交通安全委員、通学路特別委員会と、計九三名もの役員が香川地区の福祉増進にそれぞれ分担された。

六ヶ月のあゆみ

自治会長 熊沢伊助

自治会長に選任され、お引き受けして約六ヶ月、前年度の引継事項をまもりつつ地区発展のために微力をつくしてきたつもりですが、当地は市の広報課の調査では八月一日現在世帯数一、六八八世帯五百十戸であり、組数で百五十五組の一番大きい自治会であり、それに伴って自治会によせられるみなさんの要望もたくさんあります。

自治会は、みなさんの要望は直ちに市当局に取り次いで予算措置をする

よう強く要望しておりますが、市の財政難ゆえに思うようにいきませんが、私たち自治会役員は、再三、再四市当局に対し、要望実現のために頑張っております。

会員みなさんのご意見、ご要望をどしどしお聞き、せいただき、それを生かして前向きに前進し、自治会としての住民組織を強固なものにしていきたくと思っております。

総務だより

の役員の出選は実にむずかしい。

会則にもうたつてあるように、自治会役員はすべて名誉職であり、無報酬である。

生活のための本来の仕事の余暇に自治会活動を行なうことはなかなか大変なことである。

自治会役員によって決定されたことは、本来地内住民の協力があつていなければならぬ。

駅前花壇の手入れや盆踊大会の準備にしろすべてが自治会役員によつて行なわれるといつても過言ではない。

多少、町内に呼びかけて一般の参加を待ってもその協力は皆無といつてよいであろう。

このため自治会役員は

道路はみんなのもの

自治会交通部では、今年度早々新しく道路標識を取りつけ、学童等の交通安全をはかり、車輪等の交通量も激増とあつて狭い道路は狭い道路のままどうにもしようがないのが現状である。

道路の狭いのは香川地区だけでなく、茅ヶ崎市全体が狭いのであるが、この狭い道路を少しでも広く使おうと路上にでている生垣等の枝切り、また、法的規正のされていらない路上駐車等もさけるよう呼びかけることにした。

香川地区の道路は、国鉄香川駅を中心に、東西南北を問わず、その数はかなりの数にのぼつていて、満足な道路といえば、仲通り踏切りから北陵高校に到る道路、また、香川駅から間に至る駅間線の道路、せいぜいこの二本ぐらいいかない。そのほかの道路といえば、歩行者はすみにくつ

日曜日等の仕事の余暇をつぶしてこれらの作業にも取り組まなければならぬのである。

こうしたところに問題があつて役員は改選ともなると容易にはかどらぬのが一例である。

こうした問題点を検討するため八月十二日に正式に小委員会が発足した。みなさんのお力添えをお願いいたします。

小委員会は、次の方がたによつて構成されています。

第一町内会 吉沢治好・小宮喜一・鈴木宏世。

第二町内会 岡本博一委員(長) 後藤登明・岡本銀一。

第三町内会 熊沢武光・亀井精一・中村四郎。

第四町内会 齊藤兵治(いて歩くような道路ばかりである。

こうした道路事情を承知にもかかわらず別にしても、この狭い道路にへいまで路上駐車をなつていられるのがかなりある。

大山街道の踏切近くやちさん団地の大山街道寄り、この辺りは夜間トラックや乗用車が置きっぱなしと自治会役員会でも指されたところである。

さて、生垣等の枝切りについてはどうだろうか。地価の高騰もあつて狭い宅地を広く使おうと道路との界いっばいに生垣を植えている木の、また成長しきつた樹木の枝が道路においかぶさつていたりするところ、こまかく言つたらさきりがない。

自治会交通部ではこうした路上駐車や生垣等の枝切りを自主的にとりのぞいてもらうよう勧告することにしようとする。

みなさんにも十分注意の上この主旨にご協力くださるようお願いいたします。

防火灯について

今年度新しく九灯の防火灯が香川地区内について、八月八日から十六日まで、各町内会長と評議員によつて二〇〇灯に及ぶ防火灯全部に通し番号をつけてまわつた。

故障やたまきれ等については、その近くの方で気づかれた方は番号等を駅前の香川電氣までお知らせください。

会費の状況

八月現在の自治会費の収支状況は次のとおりです。

予算額二百八十九万九千五百九円に対しての徴収額は約五〇パーセントの百四十九万六千四百四十二円、これに対する支出額は総額六十二万二千四百四十九円これらの内訳は本部費として三十三万四千七百三十一円、事業費として三十一万七千七百八十八円、合計六十二万二千四百四十九円を支払つたものです。

自治会に自転車の寄附が

先般香川駅前坪田自転車店さんより自治会に自転車の寄附がありましたので報告いたします。早速連絡員に配車して使用させていただきますことになりました。

9月の

九月は台風季節です。今月のよみは、この台風を中心にひろつてみました。

1日 国鉄列車自動停止装置ATSの使用開始(昭38) 日赤、愛の献血運動開始(昭36)

3日 ジェーン台風、関西を襲い三百三十六人死亡(昭25)

6日 小林郵政相、今後十年以内でテレビ放送を。いまつかつていないVHF帯を公共無線に開放し、テレビはすべてUHF帯へ移行させる方針を発表(昭43) △富山永見町に大火千五百戸焼失(昭和13)

8日 対日平和条約、日米安全保障条約調印(昭26)

10日 NHK、日本テレビラジオ東京、朝日放送、読売テレビ、カラーテレビ本放送開始(昭35) △魚津市に大火千七百五十戸焼失(昭31) △鳥取県に大地震、死者千八百八十八人、全壊七千四百八十五戸(昭18)

11日 お年玉つき年賀はがきの付加金で建造された広島県原爆病院開院式(昭31)

13日 一九七〇年万国博覧会大阪開催(昭40)

14日 キヤスリーン台風、関東地方を襲い大水害。死者二千二百四十七人(昭22)

15日 初のとしよりの日(昭26) △国鉄、東京大阪間に特急復活、東海道線に食堂車復活(昭24) △アイオン台風、関東、東北地方に上陸。死者、行方不明二千三百六十八人(昭23) △奥むめおら主婦連絡(昭23)

16日 台風18号近畿中心に猛威、死者二百二人、被害家屋九十八万戸、第二

室戸台風(昭36)

17日 種子島宇宙センターでわが国初のロケットS B II A型8号機の打上げ。続いて19日二段式LSC I Dロケット打上げに成功(昭43)、西日本に枕崎台風、死者、行方不明二千四百人(昭20)

19日 満州事変勃発の第一報、初の臨時ニュースで放送(昭6)

20日 福岡県豊州炭鉱で水没事故、死者六十七人(昭35) △西日本に台風、死者七百六十八人、全壊六千五百七十四戸(昭18)

21日 室戸台風関西を襲う。死者行方不明三千三十六人、全壊流失四万戸(昭9)

24日 暴風雨関東中心に大被害。東京で雨量一二五ミリを記録。

25日 山梨県足和田村山津波で惨事(昭41)

26日 台風15号(伊勢湾台風)中部地方を襲い死者五千四百一十一人、被害家屋五十七万戸(昭34) △青函連絡線洞爺丸函館港外七重浜で座礁転覆、死者行方不明千五百五十五人(昭29) △復員第一船高砂丸メレオン島から千七百九人を乗せて別府に帰港(昭20) △利根川氾濫群馬県下の死者百九十人(昭27)

27日 台風22号(狩野川台風)中伊豆を襲い死者三百三十一人。

28日 外務省初の外交青書発表(昭32) △文部省、初の全国学力調査実施(昭31)

